

研究分野		授業科目名				科目責任者	
生理系分野		尿路生殖器病態生理学特論Ⅰ・Ⅲ				上原 慎也	
開講年次		共通／専攻／選択		単位数			
1,2,3,4		特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択		特論Ⅰ：4(2/年), 特論Ⅲ：1/年		(藤井 智浩)	
目的							
(1) 尿路生殖器病態生理学における最新の研究に対する知識を深め、自らの研究に役立てる。 (2) 論文内容を簡潔にまとめ、的確なプレゼンテーションを行う能力を修得する。							
授業到達目標							
(1) 尿路生殖器病態生理学における最新の研究に対する理解を深め、研究仮説を立てることができる。 (2) 研究仮説に関連した論文を理解して、研究の計画および遂行に役立てることができる。 (3) 紹介する論文の内容を簡潔にまとめ、的確なプレゼンテーションを行うことができる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時間	担当者	区分1	区分2	授業内容
1	毎週	金	8:00-9:00	藤井 智浩	講義	[抄読会]	尿路生殖器病態生理学の英文論文を紹介し、それに対する考察・討議を展開する。 [場所:10階西カンファレンス室]
評価方法							
【特論Ⅰ】 (1) 1年間※で、講義は30時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 【特論Ⅲ】 (1) 1年間※で、講義は15時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 ただし、特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものと異なる論文(症例)であること。 特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。 ※1～3年生は2月末まで、4年生は11月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。33頁：単位履修方法参照。							
課題(レポート等)に対するフィードバック							
紹介論文の要約について添削して返却する。 必要に応じて直接指導し、再度提出を求める。							
教科書							
以下に記載のものは、泌尿器科学の最高峰レベルのジャーナルであり、最新のエビデンスを学ぶことができるため、これを教科書として扱う。 ISSN-0022-5347, The Journal of Urology, Joseph A., Smith (Editor), The American Urological Association ISSN-0302-2838, European Urology, James Catto (Chief editor), The European Association of Urology							
参考書							
ISBN-9784524250370, ベッドサイド泌尿器科学(改訂第4版), 吉田 修(監修), 南江堂, 2013 ISBN-9781455775675, キャンベル泌尿器学(改訂第11版), A.J.Wein, et al., ELSEVIER, 2016							
準備学習(予習・復習等)							
(1) 紹介する文献及び論文を次回講義までに読んでおく。 (2) 事前に教科書や参考書で約1時間程度予習しておく。 (3) 紹介した論文の要約を作成する。							
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							
課題を探究し、仮説立脚、検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉する。							
注意事項・メッセージ							
代表的な英文論文を読み、自らの研究に役立てる習慣を身につけて下さい。							